

日本の食と農の現実 is 深刻。

これらの「いのちの問題」に向き合い、
みんなで農政の転換を実現しよう。

今が正念場だ。

令和の 百姓一揆



2026.3.29

14時30分
集会開始

青山公園南地区

トラクター &
軽トラパレード
提灯行進

HYAKUSHO

IKKI

2026



日本の食を守るため、再び立ち上がる時が来た

私たち令和の百姓一揆実行委員会は、安全でおいしい国産の農産物をつくるために日々土を耕し、家畜を養い、自然と向き合い、農業を営んできました。また、農業生産を通して地域の共同体を維持し農村の集落を守ってきました。環境を守り、生態系を維持することにも努めてきました。しかし残念ながらこのような農業を続けていくことが困難になってきました。持続的に安全な農産物をつくりたいと思いをよせる農業者（百姓）がなにか行動をおこせないかと立ち上がりました。

百姓一揆といっても、決して「打ちこわし」などを行うわけではありません。2025年3月30日の東京でのトラクター行進を皮切りに、全国の26都道府県で令和の百姓一揆実行委員会が結成されて、百姓の声を伝える取り組みが広がっています。

令和の百姓一揆実行委員会は農業、農村の衰退を止め、国産の食料を守ることを目的としています。気候変動による酷暑や台風、大雨などの災害、異常円安による肥料、燃料、飼料などの生産コスト増などによる経営赤字、高齢化などにより農家人口は年々減少してきました。

耕作放棄地は増え続け、今やひとつの県の面積をしのぐほどになってきました。米や野菜、畜産物、果樹などの国産食料の生産基盤が大きく損なわれようとしています。またそれに伴い、山林は放置され、熊などの獣が多く出没し始め、今や市街地にまで現れるほどとなり、農村の衰退も社会にとって深刻な問題です。

一方でスーパーの棚から米が消える**令和の米騒動**が起きました。需要の混乱が拍車をかけ、米価高騰は収まらず、「国産のお米が食べたいのに買えない」といった声が多く聞こえます。また、異常円安による物価高騰も厳しく、国民の生活はままなりません。

未来に生まれてくる子どもたちも国産の食料を食べ続けてもらえるように、「日本の食と農を守ろう」をスローガンに掲げ、すべての市民が安心して国産の食料を手にするために**すべての農民に所得補償を求めます。**

消費者と生産者の連帯の輪を広げていきます

トラクター &
軽トラパレード
・提灯行進



青山公園はこちら

日時：
場所：
アクセス：

2026年3月29日（日）
東京都港区六本木「青山公園南地区・多目的広場」
地下鉄千代田線「乃木坂駅」5番出口から徒歩4分
日比谷線「六本木駅」2番出口から徒歩12分
銀座線・半蔵門線、大江戸線「青山一丁目駅」
5番出口から徒歩14分

スケジュール（予定）

14時30分 集会開催
16時00分 トラクター&軽トラパレード出発
17時00分 人行進（提灯行進）

コース予定 青山→表参道→代々木公園 予定
※人とトラクターは一緒に行進できません



令和の百姓一揆のネーム入り提灯を1,000個用意しました。
集会の運営のために会場カンパをお願いいたします。
1,000円以上のカンパに対して提灯をお渡しします。
（提灯は無くなり次第終了）
横断幕、のぼり旗、うちわをご用意しています！

詳しくはこちら



農家が生活できる
所得補償を！



連絡先

hyakushoikki.japan@gmail.com

03-5211-6880 事務局代表電話

（山田正彦法律事務所）



メンバーズご登録